



# 勸興小学校だより

第 15 号

令和6年1月17日発行

文責 校長 中村 幸江

勸興魂「勉強はベストをつくし 運動はくたくたになるまで」

## ☆3学期がスタートしました☆

1月9日に、いつもより3日長い17日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。今日で1週間余り経ちますが、どの学年の子どもたちも落ち着いた様子で、学校生活を送っています。家族で出かけたこと、クリスマスプレゼントやお正月、お年玉など、冬休みの楽しかった出来事をたくさん聴くことが出来て、こちらまで嬉しい気持ちになりました。

その一方、元日の大地震に2日の航空機の事故と、年明け早々から心配な出来事が起こりました。とりわけ、年明けから毎日のように報道されている能登半島での大きな地震による被害。公共施設が避難所になっている報道を見ると、「被災地や被災者のために、何か出来ることはないだろうか」と考えつつも、「佐賀で同じような災害が起こったら…」と不安がよぎります。「備えあれば憂いなし」のことわざのように、日頃から様々なことを想定し、準備をしておかなければと感じた年始となりました。

さて、令和6年は「辰年」。辰年は、「これまでの努力が実を結び、大きな成果となる年」とも言われています。勸興小学校は、今年150周年。これまで学校と地域が一緒になって築き上げてこられた本校の歴史を振り返り、次の10年へと繋いでいく大きな節目の年となります。保護者の皆様、地域の皆様には、様々な場面でこれまで以上にご協力をお願いするかと思いますが、職員も子どもたちのために一丸となって頑張っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## ☆令和5年度 第2回 自学・自習コンクール☆

1学期と同様に、2学期に子どもたちが取り組んだ自主学習をコンクール形式で評価し、2～6年生からそれぞれ1点ずつ選んだ優秀作品を学校ホームページに公開しております。審査のポイントとしていくつかありますが、「めあてやふり返りが書かれているか」「どんな題材を選び、どんな発展学習にしているか」「自分の生活と結び付けているか」など、評価のコメントも一緒に掲載しております。

「自学って、どんなことをさせたら…」と思われる方は、一度ご覧いただくと参考になると思いますので、どうぞご活用ください。※3学期にも、コンクールを行う予定です。

学校 HP はこちらから

### <学校ホームページへのアクセス方法>

～次のいずれかの方法で！～

①アドレスを入力する

<https://www.education.saga.jp/hp/kanko-e/>

②「勸興小学校」で検索する

③右のQRコードを読み込む



## ☆勸興小の卒業生が快挙! ☆

昨年12月10日(日)にメートプラザで行われた「第37回佐賀市少年の主張大会」において、成章中学校1年の田中理仁さん(勸興小卒業)が、最優秀賞を受賞されました。とても素晴らしい内容だったので、ご紹介します。

### 「僕の見えない当たり前」

成章中学校1年 田中 理仁

現在、日本人の3人に1人は、何らかのアレルギーを持っているといわれています。私も、生まれつきたくさんアレルギーをもっています。喘息、アトピー、ハウスダスト、犬や猫、花粉、汗などです。食べ物においては牛乳、卵、甲殻類、そば、ナッツ類にいたるまで、多くのものを口にすることができません。

そのことで、困ることがたくさんあります。

成分表示がないものは、何が入っているのかわからず、食べることを避けなければなりません。表示に全ての成分が記載されているわけではありません。知らないうちにアレルギーを引き起こすものを食べてしまい、体がかゆくなったり気分が悪くなったりすることが何度もありました。運動などで汗をかくと、体がかゆくなってしまうのですが、運動や夏の暑さを避けることは非常に難しいことです。さらに、冬でも乾燥でアトピーがひどくなってしまいます。風邪をひいても体育大会のほりでも喘息が出ることもあります。

こんな話をする、「大変だね」とか「かわいそうだね」などと言われます。しかし、これは私にとっては当たり前のことなのです。

もし、私のように多くのアレルギーをもって生まれたら、辛いとか悲しい、苦しいなどと思い悩んでしまう人も少なくないと思います。それでも、私がこれまで辛く悲しいと思わず、自分にとって当たり前だと思えるようになったのは、間違いなく周囲の人たちのおかげです。友達や友達の家族は、遊びに行ったら必ず私に合わせて、みんなと一緒に食べられるものを用意してくれました。小さい頃から、みんなと同じものを食べ、同じものに触れるという喜びを、たくさん経験させてくれました。小学校では、周りが給食の中、初めて一人だけお弁当を食べる不安は、家族のおかげで一気に吹き飛びました。母は私に合わせてお弁当を朝早くから、毎日毎日作ってくれます。夕飯も家族みんなが同じものを食べられるよう考えて、工夫してくれるのです。家族は食べたいものが制限されるのですが、小言一つも言わず、父も一緒に笑顔で食卓を囲ってくれます。どんなに忙しくても笑顔で毎日食事を用意してくれる母に心から感謝しています。祖父は、私がおいしく食べられるようにと、料理教室に通ってまで手料理を作ってくれました。周りの温かさや家族の愛情に育まれたおかげで今の自分があります。感謝の言葉しかありません。アレルギーがあることで困ることや大変なことはありました。しかし、それがあったからこそ、経験してきたことや感じたことがたくさんあります。私は、まだ将来の夢ははっきりと決まっていますが、自分の経験や考えてきたことを強みにしていきたいと思っています。

世の中には、いろいろな事情を抱えている人がたくさんいます。中には目に見えない、あるいは人に言えない辛さや悩みをもった人もいると思います。しかし、一人一人の全てを受け入れ、その人の気持ちに寄り添える人間になりたいと私は思っています。誰もが自信をもって生きていけるよう、人を支えられる温かさをもちたいです。私が周りの人に受け入れられ愛されたように。

これが自分の当たり前だと思えるように。

このスピーチを初めて聴いたときに、理仁さん自身の思いはもちろんですが、その背景にあるご家族の温かさを感じ、自分の心まで温かく満たされる思いがしました。勸興小の子どもたちの心も、温かなもので満たされる毎日にしていきたいと思った次第です。